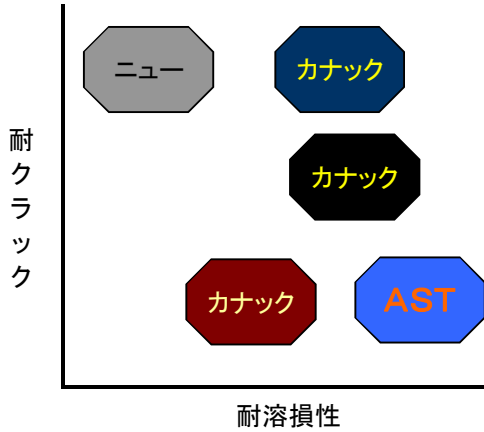
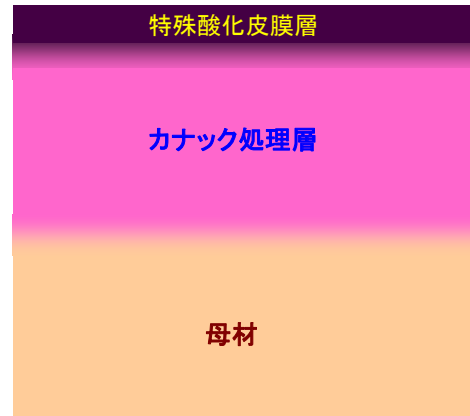


驚愕の耐溶損性・PVD皮膜に匹敵！

カナック処理群の位置付け



AST処理のイメージ



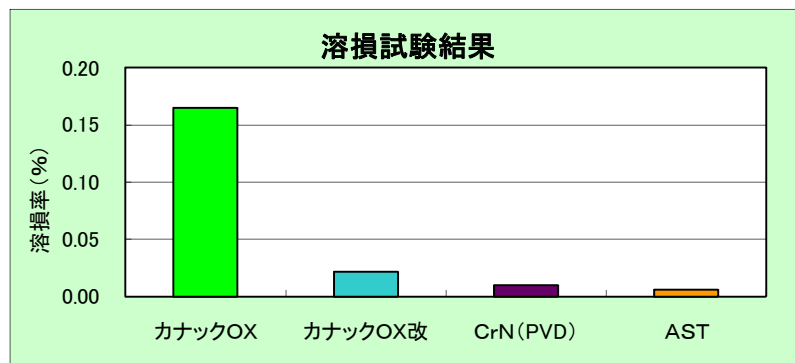
特徴

耐溶損性、耐焼付き性に優れている	カケ・剥離が少ない
処理前後の表面粗さの変化が極めて少ない	処理後の溶接作業が行える
反り、膨張など寸法変化が極めて少ない	繰返し処理しても、靱性の低下が少ない
細穴や深穴にも均一な硬化層が得られる	脆い白層が生成しにくい

溶損試験結果

カナック	6.600
カナックOX	0.165
カナックOX改	0.022
CrN(PVD)	0.010
AST	0.006
無処理	26.090

(社内比)



評価例

供試材	従来	改善後
アルミDC用ピン ADC12材	窒化処理品は、16,000shで溶損のため廃却	AST処理品で、45,000shまで延命
アルミDC用ピン ハイシリコン材	窒化処理品で100shでカジリ、PVD処理品で2,440shまで延命	AST処理品で、2,440shまでとPVDと同等の寿命
アルミDC用ピン ADC12材	窒化処理品は、20,000shで溶損のため廃却	AST処理品で、50,000shまで延命。 繰返し処理することで、160,000まで延命
亜鉛DC用ピン	無処理品は、40,000shで腐食のため廃却	AST処理品で、200,000shまで延命